

西部ガスグループ企業行動指針

西部ガスホールディングスは、経営の基本理念「地域貢献」「責任」「和」に基づいて「西部ガスグループ企業行動指針」を定めます。

西部ガスグループの企業価値を高める活動を通じて、ステークホルダーから一層の信頼をいただくため、当社グループの役員及び従業員は、以下に定める指針を理解し、これを遵守します。

1. 安心、安全をお約束する企業活動

西部ガスグループは、エネルギーをはじめとする商品・サービスの開発、ご提供にあたり、常に安心、安全を基本とする企業活動を行い、お客さまにご満足いただき、信頼される企業グループとなるよう努めます。

2. コンプライアンスと公正な事業慣行

西部ガスグループは、法令・企業倫理・社会規範を遵守することを事業運営の大前提にするとともに、公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行います。

3. 公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話

西部ガスグループは、企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、当社グループを取り巻く幅広いステークホルダーとの建設的な対話を行い、持続的な企業価値の向上を図ります。

4. 人権尊重、職場環境の充実

西部ガスグループは、従業員の多様性や一人ひとりの人格、個性を尊重します。また、働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、健康と安全に配慮した風通しが良く、働きやすい職場環境を整備します。

5. 環境問題への取り組み

西部ガスグループは、人類共通の課題である環境問題を企業の存在と活動に必須の要件と位置付け、エネルギー供給をはじめとする様々な事業運営や一人ひとりの活動を通じて、持続可能な社会を実現していくことに主体的に取り組めます。

6. 危機管理の徹底

西部ガスグループは、市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の行動やテロ、サイバー攻撃、新型感染症の流行、自然災害等に備え、事業の継続性を確保する組織的な危機管理を徹底します。

7. 経営トップの率先垂範

経営トップは本指針の実現が自らの役割であることを認識し、実効あるガバナンスを構築し、当社グループ内での周知徹底を図ります。

また、本指針に反し社会から信頼を失うような事態が発生したときには、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止策に努め、その責任を果たします。